

令和 6 年度農林水産業施策の基本方向

東日本大震災・原子力災害からの復興の加速化

【生産基盤の復旧と被災した農林漁業者への支援】

- 被災した農地、農業用施設、林道、海岸防災林、漁場等の復旧を進めます。
- 個人や共同利用の施設、機械、漁船等の整備を進めるとともに、ほ場整備と一体的な農地集積など、農林水産業の面的再開を推進します。
- 農業用ダム・ため池等の放射性物質対策を進めるとともに、次世代のきのこ原木林の整備に関係機関と連携して強力に推進します。

【避難地域等における農林水産業の復興の加速化】

- ICT等の農林水産業の先端技術の開発・実証、現場への普及を進めます。
- 被災12市町村等において、農業への企業参入を促進するとともに、農地中間管理機構のコーディネーター配置等により担い手への農地集積を加速します。
- 生産、加工等が一体となった高付加価値生産等を広域的に展開する産地の創出を支援し、営業再開を加速します。
- 水産資源を管理しながら少ない労力で高収益をあげる「ふくしま型漁業」の実現に向けた取組を推進します。

【風評の払拭】

- 効果的な情報発信、県産農林水産物の販路拡大の取組に加え、新品種の開発や機能性、おいしさ等の追求によるブランド力の向上や安定した産地の供給体制の整備などにより、風評を要因とした価格水準低下の固定化を打破するため、福島県農林水産物ブランド力強化推進方針に基づき「福島ならでは」のブランド確立を進めます。
- 輸入停止や輸入規制措置を課している国・地域に対して安全確保の取組や魅力等を発信します。



漁船の復旧

被災地域における
先端技術の実証トップセールスによる
販売促進

多様な担い手の確保・育成

【農業担い手の確保・育成】

- 福島県農業経営・就業支援センターによる就農から経営発展までの総合支援や就農コーディネーターの配置等による受入体制整備など、新たな担い手となる新規就農者の確保・育成を図ります。また、有機農業に特化した就農支援体制を整備します。
- 地域農業の目指すべき将来の姿を描く「地域計画」の作成とその実現に向け、担い手への農地集積等の取組を支援します。
- アグリカレッジ福島（農業短期大学校）の統合施設の整備や機能強化を進めます。
- 県外からの就農希望者への支援を強化し、担い手の確保と定着を促進します。

【林業担い手の確保・育成】

- 林業研修拠点「林業アカデミーふくしま」において、地域林業の核となる担い手の育成や次代を担う新規林業就業者の確保・育成を行います。

【漁業担い手の確保・育成】

- 長期研修や漁業の新規就業に必要な漁船・漁具の導入等を支援します。

地域計画の作成に
向けた研修会林業アカデミーふくしま
長期研修状況

生産基盤の確保・整備と試験研究の推進

【生産基盤の整備】

- ほ場の大区画化・汎用化と担い手への農地の利用集積を進め、経営規模の拡大を図ります。
- 農業水利施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図る戦略的な保全管理を進めます。

【戦略的な新品種・新技術の開発】

- 「福島ならでは」の価値向上に資するオリジナル品種や、県産農林水産物の旨みや機能性に見える化技術の開発など、本県農林水産業の生産力・競争力強化のための研究開発を進めます。
- 本県農業・林業・水産業の復興に寄与するICT等の先端技術の開発や実証研究を実施します。
- 森づくり活動等に使用する苗木の育成や特定苗木の植栽を行う取組を支援します。



ほ場整備

県オリジナル品種
「ゆうやけべり」

需要を創出する流通・販売戦略の実践

【安全と信頼の確保】

- モニタリング等による安全確保に取り組むとともに、県内外の消費者、流通関係者に「伝わる」わかりやすい情報発信を行います。
- G A P の認証取得拡大を進めるとともに、G A P への消費者や流通関係者の認知度向上を図り、県産農林水産物への信頼を高めます。

【戦略的なブランディング、消費拡大と販路開拓】

- 市場調査等に基づいて市場のニーズを的確に把握し、県産農林水産物の高付加価値化・生産力強化を進めるとともに、量販店におけるフェアやオンラインストアによる販売促進による販路拡大とSNSをはじめとした様々な媒体を活用した戦略的な情報発信を行うことで「福島ならでは」のブランド力の強化を図ります。
- 花き産地と輸出事業者のマッチング、連携強化により戦略的な輸出産地の体制整備や必要な生産量の確保と鮮度保持等の技術を確立し、花きの輸出拡大を図ります。
- 大手量販店等での県産水産物の常設棚設置、県産水産物のブランド力強化や流通拡大を図る実証への支援等により、県産水産物の競争力を強化します。



GAPの情報発信

量販店に常設棚設置
「福島鮮魚便」

戦略的な生産活動の展開

【生産力の強化】

- 主食用米から大豆・麦・そばや非主食用米等へ転換を強力に進め、水田をフルに活用した水田農業経営の安定化を図ります。
- 大豆・麦・そばの生産モデルの構築と作付拡大を図ります。
- GPS位置情報を補正するRTK基地局を設置し、このシステムを活用する機械の導入を支援するなど、スマート農業の推進により、産地の生産力・競争力強化を図ります。
- 環境保全型農業の新規取組者の確保や取組拡大を目的に、技術指導や優良技術の表彰、地域ぐるみの取組の支援等に取り組めます。
- 飼料価格の上昇により大きな影響を受けている畜産経営の安定化を図るため、飼料価格上昇分の一部を補助します。

【競争力の強化】

- 県オリジナル水稲品種を中心とした多様な米づくりを進めます。
- 有機農業等の取組拡大と有機農産物等への理解促進、供給体制を支援します。
- 担い手育成・販売額向上等の地域のモデルとなる園芸生産拠点の育成を支援します。
- 酒づくりに必要な機器等の整備や県オリジナル酒造好適米の開発等により「オールふくしまの酒づくり」を推進します。
- 優良素牛の導入を支援するとともに、ゲノミック評価やAIを活用した肉質評価システムを活用し、「福島牛」のブランド力を強化します。

ロボットトラクター
などのスマート農業
技術の導入

施設園芸の生産拠点

活力と魅力ある農山漁村の創生

【農林水産業・農山漁村が有する多面的機能の維持・発揮と県民への理解促進】

- 地域ぐるみで取り組む農地の保全管理等の活動への支援や森林整備の推進、植樹祭の開催など、農林水産業・農山漁村への理解促進と多面的機能の維持・発揮に資する取組を進めます。
- 農村関係人口の創出・拡大に向け、地域内外の住民による交流等を通じた地域農業の活性化に資する取組や地域外住民の受入体制づくり、マッチングを支援します。
- 海岸防災林を適切に管理し、CO₂吸収量をJ-クレジットとして創出する取組を進めます。

【快適で安全な農山漁村づくり】

- 農作物の鳥獣被害軽減に向けた地域ぐるみでの総合的な対策や、専門職員の確保・育成などの取組を支援します。
- 防災重点農業用ため池の劣化状況評価等の調査や改修工事を進め、住民の安全確保を図ります。
- 山崩れ、地すべりなど山地に起因する災害から県民の生命・財産を保護する治山施設の整備を推進します。

【地域資源を活用した取組の促進】

- 「ふくしま満天堂」の取組を通じた販路拡大や意欲ある人材の育成、地域ぐるみの商品開発など、豊かな農林水産資源を活用した地域産業6次化を推進します。

植樹による
森林づくり「ふくしま満天堂」
グランプリ表彰式

社会情勢に応じた対応

- 人口減少対策として、県外からの就業者確保、農村関係人口の創出、農林水産業への理解促進に取り組めます。
- 食料安全保障の強化に向け、輸入に依存している大豆・麦・そば及び飼料作物の生産拡大の取組を支援します。